



<p>【学校教育ビジョン】 豊かな心と確かな学力を備え、活力みなぎる金明っ子の育成 【めざす児童像】(重点) 元気いっぱい! 笑顔いっぱい! ・自ら学びに向かう子 ・やさしい子 自分で考え行動する子 ・たくましい子</p>	<p>(「確かな学」の向上 主体的・対話的で深い学びを追求し、「わかった! できた!」を大切に授業をめざす) (「豊かな心」の育成 生徒指導の三機能を生かした教育活動を推進する) (「健やかな体」の育成 挑戦する意欲、最後まで粘り強くやり抜く力を育む)</p>
---	--

評価の項目	今年度の重点目標	具体的取組	主担当	現状及び取組状況	評価の観点	実現状況の達成度判断基準	備考	判定結果(中間)	判定結果(最終)	今後の改善策
①教育課程・学習指導	「わかった!できた!」を大切に授業づくり	・個別最適な学びと協働的な学びの充実を図る。	研究主任	・一斉授業において解決に向かう姿勢は概ね育っている。一人ひとりがより主体的に学ぶ力を育てていきたい。	【努力指標】 ・児童に合った学び方を模索できる場や【金明トーク】を意識した場の設定に努めている。	「児童に合った学び方を模索できる場や【金明トーク】を意識した場」を設定に努めた教職員が10人中 A 6人以上 B 4~5人 C 2~3人 D 0~1人	7月・11月に教職員対象にアンケート調査			
	基礎・基本の定着	・計算チャレンジや「いどみ」と回答した教職員が(自習)、家庭学習の充実を図る。	教務主任	・児童は課題に真面目に取り組むが、全体的に基礎・基本の定着が弱い。練習を積み重ねて力と自信をつける必要がある。	【成果指標】 ・児童が計算の基礎・基本を身に付けている。	計算チャレンジの正答率80%を超える児童が A 90%以上 B 80%以上 C 70%以上 D 70%未満	計算チャレンジ(7月 12月)			
②生徒指導	居心地のよい学校・学級づくり	・児童の自治的活動を主として、どの児童にとっても楽しく居心地のよい学校・学級づくりを目指す。	児童会	・感染症対策のため、児童会や縦割りの活動に制約のある生活が続いてきた。今後は、児童の主体性をより大切にしながら、個々の力を発揮させていきたい。	【満足度指標】 ・児童が「学校は楽しい」と感じている。	「学校は楽しい」と思う児童が A 80%以上 B 75%以上 C 70%以上 D 70%未満	1・2学期末に、児童を対象にアンケート調査			
	いじめ問題への組織的対応	・いじめ問題に、組織的かつ協働的に対応し、未然防止・早期発見・早期対応に努める。	生徒指導主事	単級のため、人間関係や個々の役割が固定化されている面があり、それに悩んでいる児童もいる。児童の思いを受け止め、真摯に向き合う体制を常に整えておく必要がある。	【満足度指標】 いじめの未然防止・早期発見・早期対応への取り組みが、組織的・協働的かつ日常的に行われている。	アンケートや面談の実施が、いじめ問題の対応に役立っていると回答した教職員が10人中 A 9人以上 B 7~8人 C 5~6人 D 4人以下	1・2学期末に、教職員を対象にアンケート調査			
③キャリア教育・進路指導	自己肯定感・自己有用感の向上	・個々の目標を持たせ、振り返りの場を大切に、自己の裏面や成長に気づかせる。(自己評価、キャリアパスポートの活用)	キャリア教育	・日々の学校生活や行事の中で自分の目標を大切に、目標について達成度などを振り返ることができている。しかし、全体的に自己肯定感・自己有用感が低いことが課題となっている。客観的に自己評価をし、自信や次の目標・意欲につなげられる力を育てたい。	【成果指標】 児童は自分に良さがあると感じている。	「自分には良いところがある」と思う児童が A 80%以上 B 70%以上 C 60%以上 D 60%未満	児童アンケート(7月 11月)			
④保健管理	健康に対する意識・実践力の向上	・計画的な指導により、病気の予防や健康に過ごすこととする意識・実践力の向上を図る。	保健主事 養護教諭	・病気の予防について、正しい知識・技能を身に付けるとともに、自ら実践しようとする意識や態度を育てる必要がある。	【成果指標】 児童が病気の予防を意識して実践している。	「病気の予防に自分なりに工夫して取り組むことができた」と答えた児童が A 90%以上 B 80%以上 C 70%以上 D 70%未満	1・2学期末に児童を対象としたアンケート調査			
	体力・運動能力の向上	・1校1プランの取組等により体力・運動能力の向上を図る。	体育	児童は、シャトルボールや体育科のボール運動に進んで取り組んできたが、昨年度の体力テストでは、ソフトボール投げの記録が低い児童が多く見られる。	【成果指標】 ソフトボール投げの記録が、県平均以上になるように努めている。	ソフトボール投げの記録が、県平均以上の児童が A 75%以上 B 60%以上 C 50%以上 D 50%未満	6月、11月に4年生以上の児童を対象に計測			
⑤安全指導	計画的な安全教育と避難訓練の実施	・計画的な指導や訓練により、身を守るための知識・技能の向上を図る。	教頭	・火災・地震・不審者等から身を守る知識や技能を身に付けるとともに、自ら考え行動できる力を育てる必要がある。	【努力指標】 児童が、生活、交通、災害に関する様々な危険の要因や事故等の防止について理解し、進んで安全な行動ができるような安全指導に努めている。	生活、交通、災害に関する危険の要因や事故防止について理解し、進んで安全な行動ができるような安全指導に努めたと回答した教職員が10人中 A 9人以上 B 7~8人 C 5~6人 D 4人以下	7月・11月に教職員対象にアンケート調査			
⑥特別支援教育	個に応じた支援の充実	・配慮が必要な児童についての情報・効果的な支援のあり方を共有し、個に応じた支援を行う。	特別支援教育 コーディネーター	・定期的に校内支援委員会を開き、専門相談員につなげたり支援の方法を検討したりしている。それぞれの児童について、さらに継続して支援の方法を探っていく必要がある。	【努力指標】 支援委員会で、具体的な支援の方法を決めて、実践しようと努力している。	具体的な支援を行うことができたという教職員が10人中 A 9人以上である B 7~8人である C 5~6人である D 4人以下である	7月・11月に教職員対象にアンケート調査			
⑦組織運営・業務改善	業務の効率化	組織的・協働的な視点から業務の効率化を図る。	教頭	・業務の平準化に課題がある。互いに声を掛け合って、協力・協働する必要がある。	【努力指標】 各部署で業務の効率化を図り、組織的・協働的に業務を行うことに努めている。	「業務改善に努め、時間外勤務時間の削減に努めている」と回答した教職員が10人中 A 9人以上 B 7~8人 C 5~6人 D 4人以下	勤務時間記録 7月・11月に教職員対象にアンケート調査			
⑧研修	教職員の得意分野を活かした学び合い	教職員各自の得意分野を活かしたOJTや研修会を計画的に実施する。	研究主任 教頭	・日常的なOJTは行われているが、研修時間の確保が難しい。計画的に互いに学び合う研修を行いたい。	【満足度指標】 OJTや研修で学び合いがあり、自分の力量アップに生かされている。	「学び合いがあり、自分の力量アップに生かされている」と回答した教職員が10人中 A 9人以上 B 7~8人 C 5~6人 D 4人以下	7月・11月に教職員対象にアンケート調査			
⑨保護者、地域との連携	開かれた学校づくり	・学校と地域・保護者が連携・協働できるCSの仕組みを整える。	教頭	・地域・保護者にCSについて周知するとともに、CSを中心に地域の「もの・ひと・こと」の教育力を生かす仕組みを整える必要がある。	【努力指標】 地域・保護者にCSについて周知し、「もの・ひと・こと」の教育力を生かす仕組みを整えることに努めている。	地域の「もの・ひと・こと」を生かす仕組みの整備に努めている」と回答した教職員が10人中 A 9人以上 B 7~8人 C 5~6人 D 4人以下	7月・11月に教職員対象にアンケート調査			
⑩教育環境整備	児童の意欲を高める環境づくり	・児童の頑張りが見える掲示や意欲を高める環境づくりの工夫に努める。	掲示 教務主任	・教室や校内掲示板に自学ノートや道徳ノートなど学びの跡が残るように意識してきた。今年度はさらに児童の学習意欲が向上する掲示に努めていきたい。	【努力指標】 児童の学びの足跡が残り、児童が学習に意欲的に取り組む掲示に努めている。	児童の意欲を伸ばす教育環境整備が出来ていると回答した教職員が10人中 A 9人以上 B 7~8人 C 5~6人 D 4人以下	7月・11月に教職員対象にアンケート調査			

学校関係者評価	
---------	--